



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 大 札

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社

コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 細川 武雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 大井 典雄

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,801	2.0	236	113.3	259	108.1	147	61.6
23年3月期第1四半期	3,725	6.9	110	△21.6	124	△22.9	91	△9.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 142百万円 (66.9%) 23年3月期第1四半期 85百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	36.97	—
23年3月期第1四半期	22.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,791	4,666	59.9
23年3月期	7,568	4,567	60.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,666百万円 23年3月期 4,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,513	1.7	383	31.2	392	19.9	202	△15.6	50.96
通期	15,300	4.0	667	7.3	679	2.2	360	△23.2	90.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	4,216,000 株	23年3月期	4,216,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	236,452 株	23年3月期	236,452 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	3,979,548 株	23年3月期1Q	4,083,592 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年5月16日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力発電所の事故により、各地に膨大な被害をもたらし、またサプライチェーン（供給網）が寸断するなど、生産活動が大幅に低下いたしました。近時、被災した製造工場の再稼働やサプライチェーンの復旧などにより、経済活動は正常化しつつありますが、円高や電力供給の制約及び雇用情勢の悪化など厳しい状況で推移いたしました。

また、当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましても、東日本大震災の影響により、観光客などの大幅減少や生産活動の低下など厳しい状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、臨床検査業界の再編による競争激化や医療機関の規模縮小が進み、依然として厳しい経営環境におかれましては。

このような状況の中、当社グループは、医療機関からの多様なニーズに応えた積極的な営業活動を展開し、新規顧客の獲得や採算性を重視した経営改善に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,801百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益236百万円（同113.3%増）、経常利益259百万円（同108.1%増）、四半期純利益147百万円（同61.6%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新規取引先の獲得に重点をおいた営業展開を推し進めてきたことにより一定の成果を上げることができ、売上高1,318百万円（同7.2%増）、セグメント利益109百万円（同44.7%増）と増収増益になりました。

②調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、既存店舗の来局患者数の増加により、売上高は2,280百万円（同4.5%増）、セグメント利益231百万円（同69.7%増）と増収増益になりました。

③医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、前年同期は好調であった大型備品の販売が平年並みであったことにより売上高185百万円（同38.6%減）、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント利益8百万円）と減収減益になりました。

④その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高16百万円（前年同期比43.0%増）、セグメント利益8百万円（同563.3%増）になりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円増加（前連結会計年度末比5.9%増）致しました。これは主に現金及び預金が163百万円増加したこと及び受取手形及び売掛金が72百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,845百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少（同1.9%減）致しました。これは主に有形固定資産が35百万円及び無形固定資産が11百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は7,791百万円となり、前連結会計年度末に比べ223百万円増加（同3.0%増）致しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円増加（同5.3%増）致しました。これは主に支払手形及び買掛金が408百万円増加したこと及び短期借入金が235百万円減少したことによるものであります。固定負債は367百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少（同3.9%減）致しました。これは主に長期借入金11百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円増加（同4.2%増）致しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は4,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加（同2.2%増）致しました。これは主に四半期純利益147百万円及び剰余金の配当43百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は59.9%となり、前連結会計年度末比0.5ポイント減少致しました。

また、1株当たり純資産は1,172円51銭となり、前連結会計年度末比24円73銭増加致しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月16日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）が平成23年3月29日付けで一部改正されたことに伴い、従来、特別利益に計上しておりました「貸倒引当金戻入額」は、当第1四半期連結累計期間より営業外収益に「貸倒引当金戻入額」として計上しておりますが、同実務指針の定めに基づき、前第1四半期連結会計期間については遡及処理を行っておりません。

（不動産管理並びに賃貸業の収入及び原価の計上区分の変更）

当社の連結子会社であるアクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸による収入及び原価については、従来、売上高及び売上原価に計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より営業外収益の受取賃貸料及び営業外費用の賃貸収入原価として計上する方法に変更しております。

この変更は、当社グループの事業内容を見直した結果、今後の事業戦略上、アクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸業を主たる事業として積極的に事業展開する予定がないことを取締役会で決議したことを契機として、より実態を適切に表示するために行ったものであります。

当該計上区分の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益が842千円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該個所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,663,613	1,826,964
受取手形及び売掛金	2,311,251	2,383,956
商品及び製品	545,756	573,185
仕掛品	14,356	13,141
原材料及び貯蔵品	28,806	22,608
繰延税金資産	54,787	54,787
その他	88,589	103,213
貸倒引当金	△37,962	△31,285
流動資産合計	4,669,198	4,946,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,745,831	1,746,693
減価償却累計額	△1,086,101	△1,098,841
建物及び構築物（純額）	659,730	647,852
機械装置及び運搬具	65,387	66,506
減価償却累計額	△57,217	△58,541
機械装置及び運搬具（純額）	8,169	7,965
工具、器具及び備品	1,867,207	1,886,657
減価償却累計額	△1,442,615	△1,490,416
工具、器具及び備品（純額）	424,592	396,240
土地	909,323	909,323
リース資産	52,879	61,095
減価償却累計額	△15,829	△18,866
リース資産（純額）	37,050	42,229
有形固定資産合計	2,038,865	2,003,610
無形固定資産		
その他	159,159	147,855
無形固定資産合計	159,159	147,855
投資その他の資産		
投資有価証券	124,132	115,994
長期貸付金	33,027	31,039
長期前払費用	26,382	27,410
差入保証金	324,896	322,443
繰延税金資産	140,905	144,061
その他	243,207	243,849
貸倒引当金	△191,498	△190,914
投資その他の資産合計	701,052	693,884
固定資産合計	2,899,077	2,845,350
資産合計	7,568,276	7,791,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,710,004	2,118,431
短期借入金	413,181	177,777
リース債務	12,127	13,385
未払法人税等	160,372	121,578
未払金	124,986	114,675
賞与引当金	67,986	38,663
その他	129,975	174,216
流動負債合計	2,618,633	2,758,727
固定負債		
長期借入金	64,061	52,255
リース債務	32,055	35,906
長期未払金	214,097	210,334
役員退職慰労引当金	55,863	52,713
退職給付引当金	9,600	9,795
繰延税金負債	298	98
その他	6,041	6,041
固定負債合計	382,015	367,143
負債合計	3,000,649	3,125,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	2,668,466	2,771,827
自己株式	△98,502	△98,502
株主資本合計	4,568,583	4,671,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△955	△5,891
その他の包括利益累計額合計	△955	△5,891
純資産合計	4,567,627	4,666,052
負債純資産合計	7,568,276	7,791,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	3,725,794	3,801,057
売上原価	2,681,846	2,633,758
売上総利益	1,043,947	1,167,299
販売費及び一般管理費	933,248	931,134
営業利益	110,698	236,164
営業外収益		
受取利息	727	452
受取配当金	1,324	1,500
受取賃貸料	15,060	16,098
貸倒引当金戻入額	—	7,234
その他	7,435	10,237
営業外収益合計	24,546	35,522
営業外費用		
支払利息	2,208	1,540
賃貸収入原価	8,265	9,914
その他	50	668
営業外費用合計	10,524	12,123
経常利益	124,721	259,564
特別利益		
貸倒引当金戻入額	40,452	—
固定資産売却益	104	—
特別利益合計	40,556	—
特別損失		
固定資産売却損	222	—
固定資産除却損	850	129
会員権評価損	1,400	—
特別損失合計	2,472	129
税金等調整前四半期純利益	162,804	259,434
法人税等	71,740	112,298
少数株主損益調整前四半期純利益	91,064	147,136
四半期純利益	91,064	147,136

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	91,064	147,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,861	△4,936
その他の包括利益合計	△5,861	△4,936
四半期包括利益	85,203	142,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,203	142,200

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,230,174	2,182,112	302,184	3,714,471	11,322	3,725,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	185,803	185,803	203	186,007
計	1,230,174	2,182,112	487,987	3,900,275	11,526	3,911,801
セグメント利益	75,839	136,162	8,192	220,194	1,213	221,407

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	220,194
「その他」の区分の利益	1,213
セグメント間取引消去	△2,253
全社費用(注)	△108,455
四半期連結損益計算書の営業利益	110,698

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,318,289	2,280,967	185,605	3,784,861	16,195	3,801,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	126,971	126,971	127	127,098
計	1,318,289	2,280,967	312,576	3,911,832	16,323	3,928,155
セグメント利益又は損失 (△)	109,739	231,059	△1,109	339,689	8,046	347,736

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 「追加情報 不動産管理並びに賃貸業の収入及び原価の計上区分の変更」に記載のとおり、当社の連結子会社であるアクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸による収入及び原価については、従来、売上高及び売上原価に計上していましたが、当第1四半期連結累計期間より営業外収益の受取賃貸料及び営業外費用の賃貸収入原価として計上する方法に変更しております。なお、当該計上区分の変更は遡及適用され、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の「その他」の売上高が2,068千円、「その他」のセグメント利益が842千円及びセグメント間取引消去が3,000千円減少しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	339,689
「その他」の区分の利益	8,046
セグメント間取引消去	2,049
全社費用(注)	△113,620
四半期連結損益計算書の営業利益	236,164

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。